

ファンタジー系エロゲ、エロ動画BGM素材
「組曲：ディードリッドの受精」
(木下 桜子 楽曲解説付き)

2020/03/23 ver.1

宗教団体**真**
メグデス

ファンタジー系エロゲ、エロ動画BGM素材 「組曲：ディードリッドの受精」ライセンス規約について

1. 本商品「ファンタジー系エロゲ、エロ動画BGM素材『組曲：ディードリッドの受精』」の中に含まれる音源は「01-歌曲」内の音源と歌詞カード以外は、全て、商業、非商業に関わらず、自由に利用していただくことができます。ただし、利用できる方は、本商品を購入された方の一次利用のみとさせていただきます。

※ 例えば、本商品購入者が、本商品の音源を利用して作成した作品を公開・販売するのは構いません。（一次利用）
しかし、これをDLで入手した方が、本商品の音源を抜き取って利用することは認めません。（二次利用）

2. 本商品の販売権は、宗教団体真メグデスに帰属しており、本商品ならびに、本商品を転売・配布することはできません。

※ 本商品の購入者が、本商品内の素材を、ご自身の作品に組み込んで発表、発売することは構いません。（一次利用）
しかし、本商品のパッケージやパッケージの一部を抜き取った状態で配布・販売することは認めません。
（「1」と同様、入手した方が利用することが、二次利用にあたります。この場合、配布・販売した方に勧告いたします。
ご自身の本商品や作品の入手者が、それを転用しないように、ご注意等をお願いします）

3. 本商品の著作権は、宗教団体真メグデスに帰属しております。著作権は放棄しておりません。

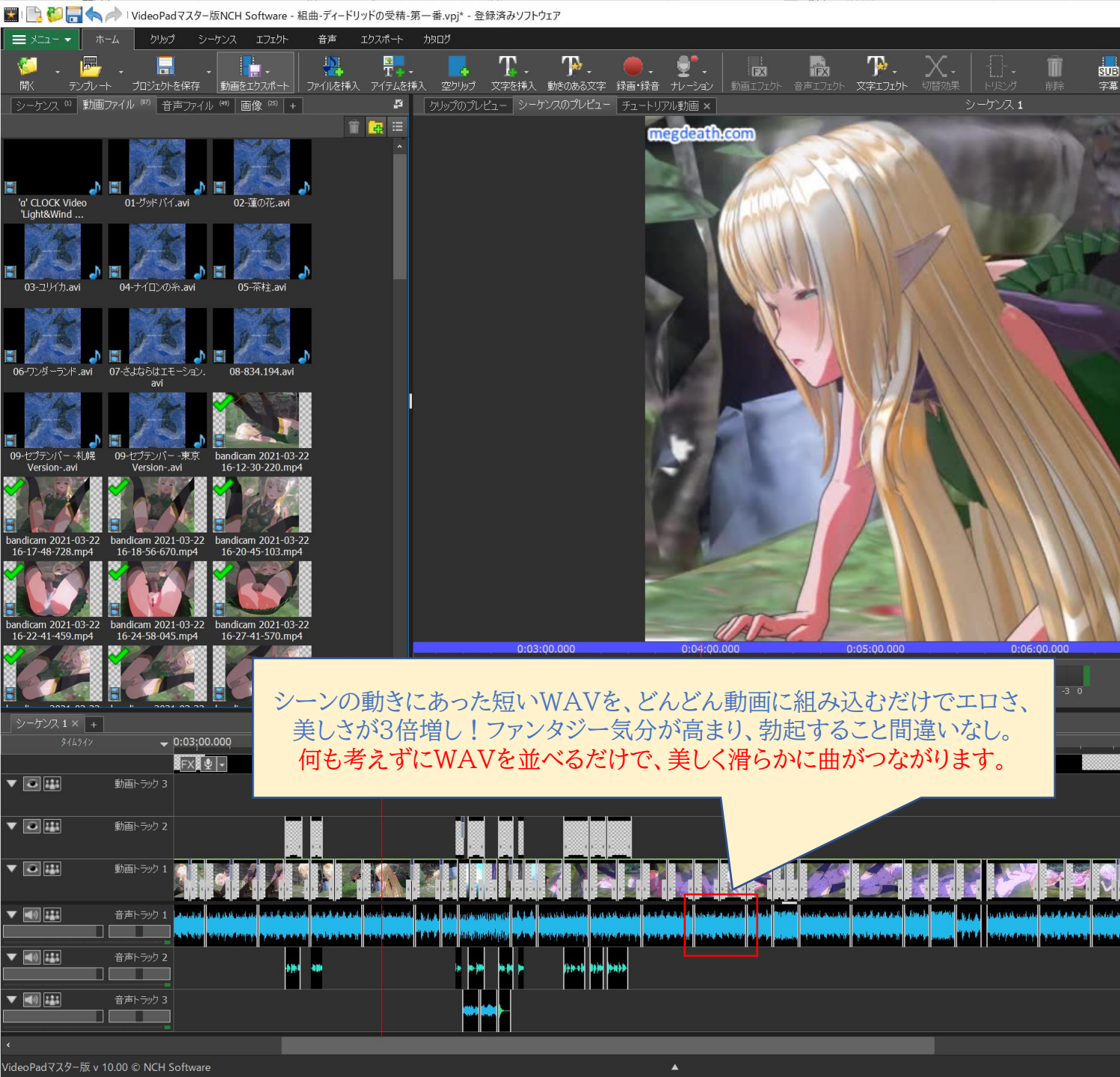
4. 本商品を利用した、購入者自身が作成された商品に「宗教団体真メグデス」のクレジットを入れる必要はありません。

その他、
宗教団体真メグデスは、皆様の活躍と共に成長していきたいと考えております。利用にあたって不備・ご不便等ありましたら、公式Twitterまで、お気軽にご相談ください。商品の無償アップデート、もしくは、有償の個別対応を検討させていただきます。

宗教団体真メグデス公式Twitter
<https://twitter.com/megdeathofficial1>

宗教団体真メグデス公式HP
<https://www.megdeath.com/>

2021.03.23 宗教団体真メグデス



シーンの動きにあった短いWAVを、どんどん動画に組み込むだけでエロさ、
美しさが3倍増し！ファンタジー気分が高まり、勃起すること間違いなし。
何も考えずにWAVを並べるだけで、美しく滑らかに曲がつながります。

ファンタジーエロスを愛する、全てのエロゲ、エロ動画制作
者に送る、エロゲBGM素材の決定版！

ファンタジー系エロゲ、エロゲ動画向けBGM素材
「組曲：ディードリッドの受精」とは？

エロのリズム、艶めかしさを再現した美しいクラシック組曲が、あなた
のエロ動画に愛しさと切なさの彩りをそえてくれます。

各WAVは短く切られており、かつ、どのような順番で並べても、ある
いは、各WAVを何度リピートさせても、「全体としてひとつの楽曲」と
して美しくまとまるように設計されています。

WAVの長さを目安にして、シーンをチェンジしていくと、飽きの来ない、
それでいてドラマチックな抜き動画に仕上がります。

さらに、邪魔にならない程度に「プレス(息遣い)」が楽曲に組み込まれ
ているため、声優さんの声や、たくさんの効果音をいれなくても、それ
なりにエロくなります。

あなたも、新時代の美しいエロBGMを体感してください。

組曲『ディードリッドの受精』

作曲：木下 桜子

I. 情熱 (16秒)

II. 求められし体 (8秒)

III. 愛 (16秒)

IV. 膣穴にチンポ (16秒)

V. 腰の動きは激しくなりし (16秒)

VI. 恍惚-1 (8秒)

VII. 恍惚-2 (8秒)

VIII. 受精を待つエルフの乙女 (8秒)

IX. 射精 (5秒)

X. 受精 (0.1秒)

トータル演奏時間：1分42秒

※ただし、セックスのプレイ時間や展開にあわせて各セクションを繰り返したり、入れ替えるなどすると、通常、5分～10分の演奏時間になることが想定されます。

組曲『ディードリッドの受精』は、日本の大作曲家、木下桜子が作曲した「**可変式楽曲**」です。呪われた島ロードスで受精したエルフの乙女、ディードリッドのセックスを題材に書かれています。「ファンタジーゲームの冒険者のパーティーにいる女って、絶対やりまんだよね？」という友人の言葉からヒントを得て、木下は、苦心して本曲を書きあげます。リズムカルなピアノで腰の動きを、また、ストリングスが「心の揺れ動き」を表現しています。また、ピチカート（弦を強く弾く音）で精液が飛び散る様子を再現するなど、多彩な音楽表現が随所にちりばめられており、1分42秒の間に、木下の類まれな才能を垣間見ることができます。

「可変式楽曲」とは

可変式楽曲とは、演奏者が気分やその場の状況で、演奏する順番を自由に入れ替えたり、繰り返す回数を増やしたり、あるいは、演奏せずに飛ばすことができる、能動的な形式の楽曲です。木下は「一枚の譜面の解釈を何十年も続けているクラシック演奏家」を「保守的である」と嫌っています。そして、演奏者や聴き手が、「もっと能動的に音楽を楽しめる音楽形式」を模索していました。結果、生まれたのが「可変式楽曲」という形式です。ヒントになったのはゲームのBGMです。ゲームではプレイヤーの動きにあわせて曲が追従して変化します。これを応用し、セックスの表現を可変式楽曲で組み立てました。セックスの手順は、その日の気分によって変わります。ずっとフェラチオをさせて射精する（させる）ときもあれば、体位をあれこれ変えながら1時間以上楽しむこともあるでしょう。本組曲の長さや順番は、あなたの気分を追従します。ぜひ、自身のイメージーションを膨らませて、本組曲の順番や繰り返し回数を工夫し、あなただけのオリジナルのセックスBGMを作ってください。

組曲『ディードリッドの受精』 MIXの違いとライセンスについて

02. 野外MIX

03. 媚薬MIX

04. 地下牢MIX（ピアノ）

※「01. 歌曲『愛とザーメンのファンタジア』はライセンスフリーではありません。ご自身の作品に用いて発表することを禁止いたします。

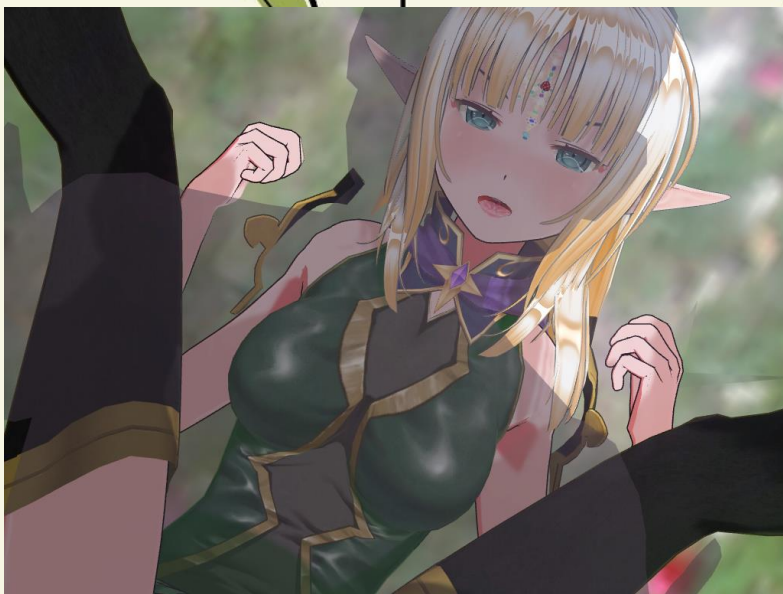
※ その他の楽曲は商業・非商業に関わらず自由に利用していただけます。詳細は同梱の「ライセンス規約」をお読みください。

・「02. 野外MIX」は、**野外でのセックスシーンを想定したBGMです**。怪鳥の音と、少女のブレスの音が邪魔にならない程度にほどよく、美しく入っており、呪われた島ロードスでのセックスの気分を味わえます。ブレスが入っていますので、喘ぎ声やピストン音などを重ねなくても、それなりにエロく聴こえます。

・「03. 媚薬MIX」は、**媚薬を投入されてのセックス、あるいは、モンスターに犯されるシーンを想定したBGMです**。脳を揺さぶるような呪いの音と、少女のブレスの音が邪魔にならない程度にほどよく、美しく入っており、呪われた島ロードスでのセックスの気分を味わえます。ブレスが入っていますので、喘ぎ声やピストン音などを重ねなくても、それなりにエロく聴こえます。

・「04. 地下牢MIX」は、**地下室やダンジョン等の緊張下でのセックスシーンを想定しています**。ただ、ピアノ主体で音が「硬い、痛そう」な印象なので、ロマンチックなエッチには向いていないと思います。（ピアノは打楽器で、叩いて音を出すので、どんな一流の演奏者が弾いても、必ず「冷酷な音」の印象があります）被虐的で「痛みを感じる」イメージが強いミックスですので、セックスを楽しむというよりも、少女をオナニーをさせたりバイブを突っ込んで鑑賞するような「冷酷さ」を含むシーンに合うと思います。SMもいけるかもしれません。

なお、「ファンタジーエロに室内のノーマルなセックスは不要」という作者の強い意向により、ノーマルセックスには対応していません。また作曲者が日常シーンに興味がないため、日常シーンのBGMはありません。



解説：セクション.I 「情熱」

セクション1の「情熱」は「挿入前の交渉、挿入後の緊張感」を表現しています。セックスは男女のどちらかに「やりたい」という「情熱 (passion)」があり、その後、合意があり、始まります。仲の良いカップルや夫婦であれば、特に自然にセックスが始まるかもしれません。しかし、本曲は「エルフの乙女、ディードリッド」を描いた楽曲です。エルフは高潔で、また、人間などの異種間と性行為は、エルフの界限において「汚らしいもの」とされていました。したがって、エルフの女性が人間と性行為する前には「強い緊張感があったのではないか？」という作曲者のイマジネーションにより、緊張感のあるセクションとなっています。ただし、結局は拒否せずするのですから、別セクションともつながりが良いように設計されています。

利用に適しているシーン

セックス直前の会話、また、無理やりされて、女性側が乗り気でないなど、何かしら「拒否反応」があるシーンで利用するのが適しているでしょう。しかし、どのシーンに、どの曲がマッチするかは、全て演奏者（ここでは、つまり動画制作者であるあなた）に委ねられており、それは、他のセクションについても同じです。



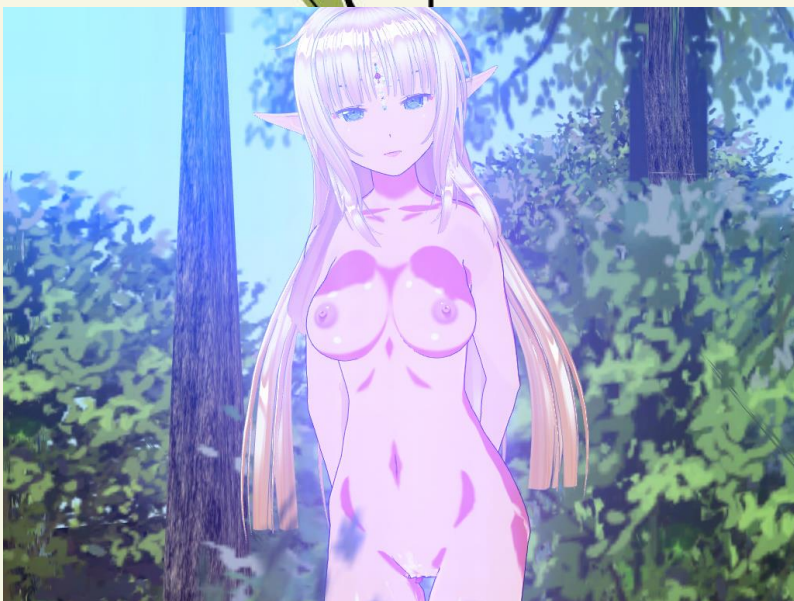
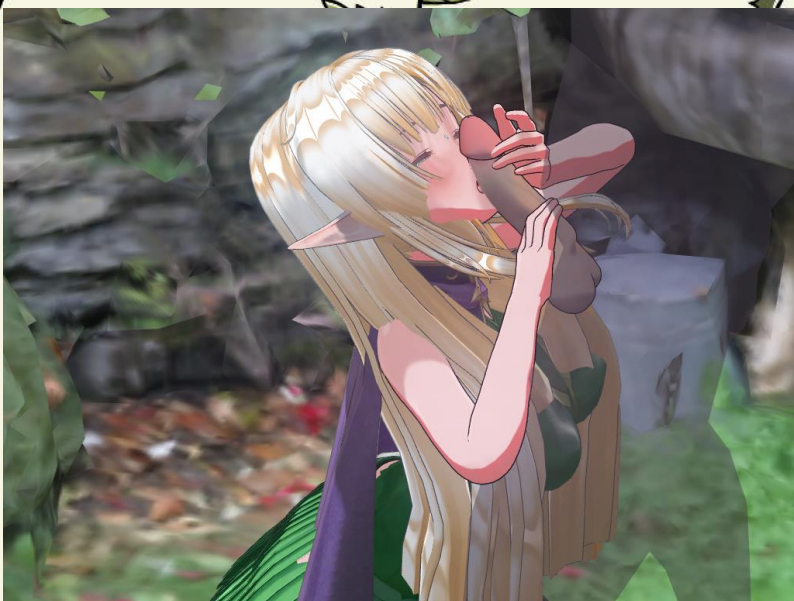
解説：セクション.Ⅱ 「求められし体」

行為がはじまってしばらくして、体がほぐれ、感じ始め、体が熱くなっている状況表現をしています。しかし、まだ心や体に緊張感が残っています。このシーンを端的に表現するのであれば、「男性は射精欲にかられているが、女性はそうでもない」ということです。

「ピアノの『硬い音』」は、男性のギンギンになった『硬い』チンポが女性の体内で暴れている状況表現しつつ、一方、女性側は「まだ、どこかで心や体が冷えている」という冷たさも表現しています。しかし、少女の心や体が冷えていようが、このまま行為が続けば射精されるでしょう。このまま射精されて終わった場合は、やや「残酷、冷たい印象」を与えることになります。いつも燃え上がるようなセックスばかりというわけではないですし、そういうことも、多々あるでしょう。

利用に適しているシーン

「感じてはいるが、まだ、セックスには没入しきれていない」シーンの表現に利用するのが良いでしょう。「付き合っただけで、セックスの喜びがイマイチわからない」、あるいは、野外でする際に、まわりが気になってしまっているなど、複雑な思いを抱きながらハメられている少女の心境を表現するのに適しています。あるいは「長年連れ添った妻との、義務的なセックス」のような複雑な状況で用いても面白いかもしれません。



解説：セクション.III 「愛」

男性に奉仕するエルフの女性の仕草の美しさ、華やかさ、優雅さを表現しています。また、女性側のチンポを舐めたり、自ら腰を振ることといった、行為に対する「楽しさ」という内面の心の動きも表現しています。

同人エロゲで登場するエルフは凌辱の対象であり、その「高潔さ、優雅さ」が表現されることは、ほとんどありません。そのため、本曲を「エロ」と結び付けて理解することは、やや困難かもしれません。

しかし、作曲者、木下は「本気になったエルフのフェラチオや騎乗位は、人間を凌駕する美しさを持っているに違いない」という確固たる信念をもって本セクションを完成させました。

「ぴくぴくする、硬くなったチンポ」を表現するため、ピチカートが効果的に使われています。このまま射精したり顔にかけて終わってしまっても、女性は嫌な気分にはならないでしょう。それが「愛」です。「愛」は美しく、楽しく、決して、自分の欲求を満たすためだけのものではないからです。

利用に適しているシーン

女性側が「性行為に楽しさ」を感じており、セックスの最中の行為や動き、また、女性の裸体を「美しい、輝いている」と感じる場面で用いるのが良いでしょう。

ただし、本セクションは「高潔なエルフの乙女の奉仕、心情」を表現したものです。ですから、SMなど暴力的、高圧的な従属を求めるようなシーンには適しません。



解説：セクション.IV 「膣穴に入りしチンポ」

セクションII『求められし体』と同様、挿入されている状況表現しています。しかし、本セクションは「求められし体」とは状況が異なり、女性側が行為や快感に強く没入し、体が熱くなっていることが表現されています。

ストリングスが効果的に用いられており『求められし体』よりも、全体の響きに大きな広がりがあります。『求められし体』は、女性側が「求められたから、させてあげた」というイメージが強く、一方、「膣穴に入りしチンポ」は、女性側が男性と「一つになりたい」と、強く願っています。

利用に適しているシーン

女性側がチンポを入れられていることを「悦んでいる」シーンに利用するのが適しています。

「口では嫌がっているが、体は強く反応してしまっている」という「心と体が矛盾している」ようなシーンにも適しています。文章や映像では、この「矛盾」を表現することが非常に困難です。無理に表現しようとするれば、長く難解な説明になります。しかし、音楽はもともと「さまざまな異なる楽器」が一体となって表現しているため「矛盾」をやすやすと表現します。ピアノが冷たく叩いて、ストリングスが柔らかく、温かうねれば、それだけで「矛盾」が表現されるのです。それが音楽の特性です。



解説：セクション.V 「腰の動きは激しくなりし」

直前のセクションIV『膣穴に入りしチンポ』と連携するパートです。リズムもフレーズも一聴すると『膣穴に入りしチンポ』とほとんど変わらないように聴こえます。しかし、よく聴くと、ピアノが「冷酷に打撃する音」が目立つようにいれられています。これはセックスの行為者の「理性が飛んで、凶暴性が増している」ことを表現しています。性欲と暴力は「獣性、狂気」と強く結びついています。愛しているのに、女性の首を締めたくなったり、ケツを叩きたくなったり、あるいは「殺してしまいたい」と感じることはありませんか。それは、快感や興奮で「理性」が飛び、知能が低下し、獣に近い状態になるからです。

利用に適しているシーン

相手を優しく、愛しく思いやる気持ちよりも「自分が気持ちよくなりたい」という「エゴ」が上回るシーンに適しています。女性が疲れて「もうやめて!」と言っているのに、男性が夢中で腰を振り続けたり、ケツを叩いたり。あるいは騎乗位でまたがる女性が、男性を「快樂のための道具」とみなして、激しくケツを振るシーンに適しています。本組曲は「高潔なエルフのセックス」をイメージした、品位のある曲が多めですが、本セクションに限って言えば、SMシーンやレイプにもマッチします。どんなに高潔な乙女であっても、ヒィヒィ言っているときは、ただの獣であり、肉穴なのです。

解説：

セクション.V 「恍惚-1」

セクション.VII 「恍惚-2」

「恍惚-1」と「恍惚-2」はセットです。絶頂が近づいており、既に行為者には「心」はありません。そのため、ここで表現されているのは、腰の動きや、シーツの音、ベッドの軋みなどの「外界の音」です。それはつまり、行為者の主観的な視点ではなく、その状況を客観的に観察した際の「動き、音」です。

利用に適しているシーン

本セクションの音は、激しいピストン、ドバドバと溢れる愛液、たぷんたぷんと揺れる乳房など、「視覚的に刺激が強いシーン」に用いるのが効果的です。「恍惚-1」と「恍惚-2」では、「恍惚-2」のほうが男性的で「重量感」があります。体重が軽く、力で人間に劣るエルフの女性が、どれだけ夢中になって騎乗位で腰を振っても限界があります。そういった場合は「恍惚-1」を、一方、力の強い男性がエルフの女性を組み伏せて、押しつぶすようにチンポを押し込む場合は「恍惚-2」を用いるなど、使いわけても良いかもしれません。





解説：

セクション.VIII 「受精を待つエルフの乙女」

男性が「射精したい」という欲求があるのと同様、女性にも「射精されたい」という欲求があります。女性は射精される、あるいは「射精されている」とわかると、興奮しながらも、ある種「身構えます」。その緊張した心の内面を表現しています。

利用に適しているシーン

射精されている直前、あるいは、射精されている最中などに適しています。膣内、体、顔面、どこに射精されている際のシーンであっても効果的です。



解説：セクション.IX 「射精」

前セクションの「VIII. 受精を待つエルフの乙女」と同様に射精シーンを描いています。「受精を待つエルフの乙女」では、射精されている際の、女性の「心情」を描いていますが、一方、本セクション「射精」は「飛び散る精液」の液体の音を直接的に表現しています。音の表現には大きく2つの種類があります。ひとつは「1. 心理」を表現する内在的な表現、もうひとつは「2. 実在の音、周囲の雰囲気、空気」を楽器で再現する外在的な表現です。これまでのエロゲでは、射精の音は「SE（効果音）」に頼っていましたが、作曲家である木下は「セックスのシーンの状況によっては、液体が飛び散る『効果音』は下品に聴こえてしまう」と判断し、組曲の一部として射精音を「作曲」しました。ピチカートとピアノの音を効果的に使い、白い透明のザーメンが、ピチピチと飛び出す雰囲気を表現しています。

利用に適しているシーン

顔面シャワーなど、液体がわかりやすく飛び散るシーンに用いるのが筋です。しかし、射精の最中の女性に「ピクピク痙攣する」などの動作がある場合は、本セクションのピチカートのピクピクした音が連動し、効果を発揮します。なお、余談ですが、光に属するエルフと対の関係にあるダークエルフや、人間との中間種であるハーフエルフの女性は顔面シャワーやアナルセックスなどの「汚らしい行為」を好む傾向があります。



クラシック音楽の新しい可能性

本曲のインスピレーションの源は、ロードス島の古の物語です。伝え聞く限りでは、エルフの乙女、ディードリッドの恋人であるパーンは、ダークエルフの女性ピロテースに陥落させられ。一方、ディードリッドはオークらの怪物に捕まり地下牢で肉便器として酷使されるという非業の最後を遂げています。しかし、我々の脳内で、まだ、ディードは生きています。なぜならば、エルフは永遠の美少女だからです。きっと逃げ出して、次の恋を見つけたはずです。皆さんも、本曲を聴きながら、また、実際にエロ動画やエロゲー制作で本曲の素材を用いて、皆さんだけの素敵な物語を作っていただければ幸いです。

2021/03/23 木下 桜子